

連携機関のお知らせです

スライドが要らない自動セルカウンター

MC1017

Denovix社 CellDrop FL

開催日時

2024年5月31日（金）14：00～14：30

開催方法：Webミーティング（Zoom）機器紹介＋取り扱い説明

演者：八幡

光徳（スクラム プロダクト推進）

申込方法

下記のURLもしくは右記QRコードから申し込みフォームにアクセスしてください。

<https://forms.gle/yDpGsMR1Fj3owa6s7>

<https://forms.gle/yDpGsMR1Fj3owa6s7>



申し込み締切5月31日（金）10：00

フォームで申し込みの方にセミナーIDをお知らせします。電話での受け付けはしていません。協力企業からの連絡のみを希望される場合もフォームからご連絡ください。記入内容は協力企業と情報共有させていただきます。後日オンデマンド配信をご希望の方もフォームでお申込みください。

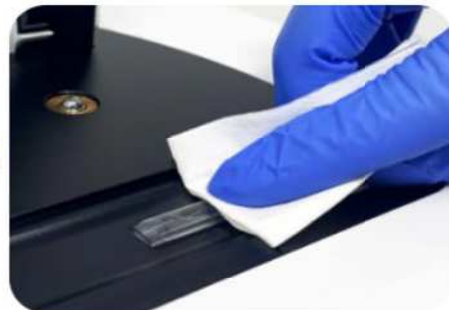
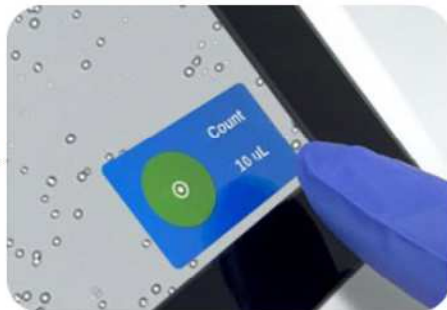
～セルカウンターはスライドを使わない時代に～

CellDropシリーズは、セルカウンターに微量分光光度計の原理を応用した独自のDirectPipette Technologyにより、使い捨てスライドを使用せず、細胞懸濁液を装置に直接のせるだけで測定を開始できます。測定後はサンプル台を拭くだけですぐに次の測定が可能です。

蛍光染色によるセルカウントでは、明視野と比較して細胞の認識と生死をより明確に判定することが可能です。また、CellDropは、セルラインだけでなく様々な動物細胞、酵母、昆虫細胞、藻類細胞、花粉などのカウントに使用することができます。さらに、感染性の高いサンプルには、ディスポーザブルスライドを使用してセルカウントすることが可能です。

今回のセミナーでは、CellDropの原理と取り扱い方法について説明いたします。

明視野、トリパンブルー染色、蛍光法(AO、PI、AO/PI、GFP)に対応



①サンプルをロードする

②カウントする

③サンプル台を拭く

クイックスタートガイド等の動画を公開中

<https://www.scrum-net.co.jp/product/list/cell-counter/celldrop/support#Anchor2>

クイックスタートガイド

カウント精度を高める7つのコツ

AO/PI染色サンプル調製のコツ



問い合わせ先

※MC0025 10x GenomicsChromium iX推奨セルカウンター
のひとつとしてサポートされています。

学内： 共同利用研究室中央機器管理部門 藤原
chuokiki-office-group@keio.jp

<https://sites.google.com/keio.jp/corr-cf/home>

メーカー：株式会社 SCRUM 柳橋 正大、八幡 光徳

DeNovix

株式会社 スクラム

有志の大学共同利用施設
がゆるやかに連携して活
動しています。学部・大
学・機関の壁を越えてふ
るってご参加ください。